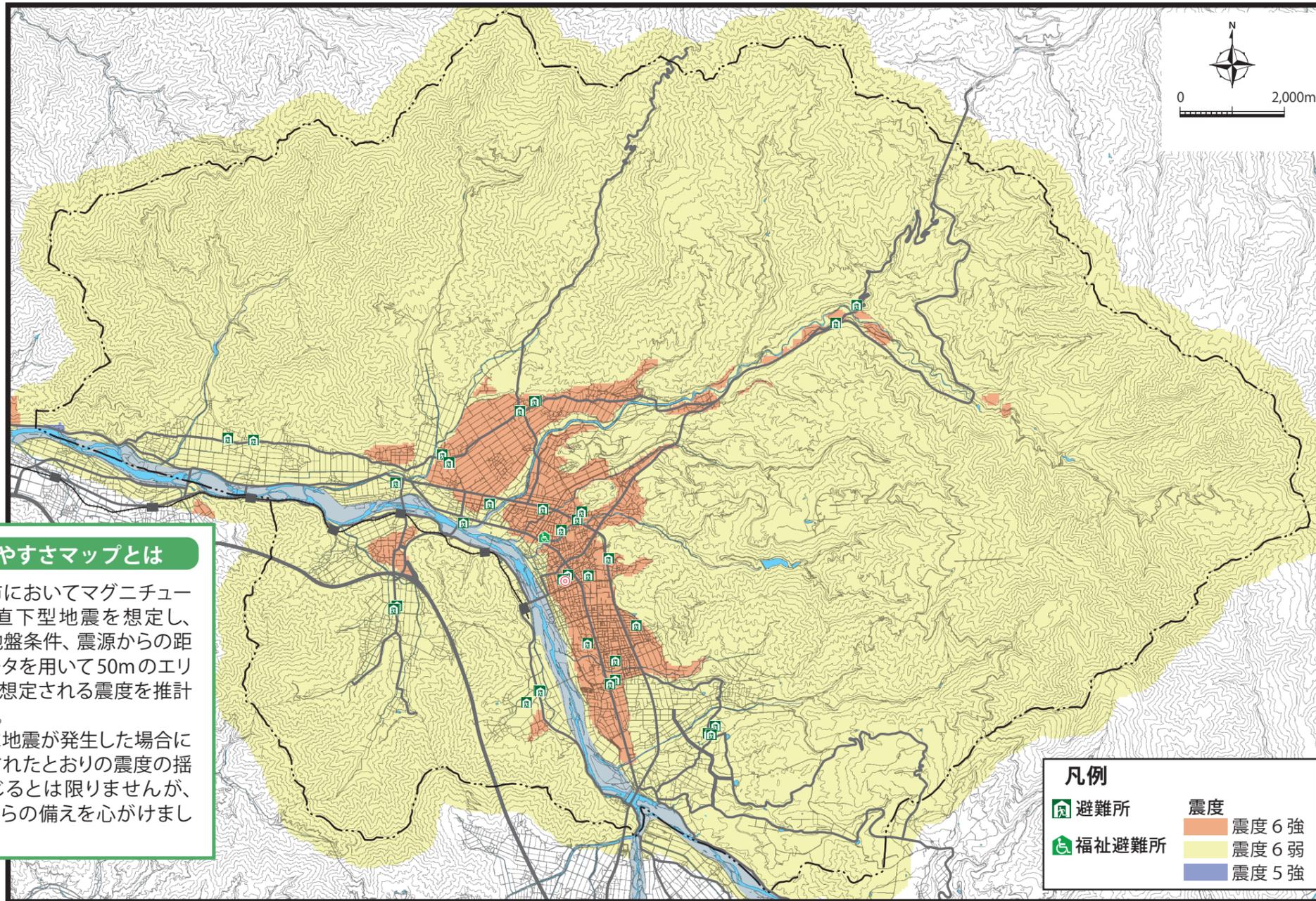


1-6. 地震ハザードマップ



揺れやすさマップとは
 勝山市においてマグニチュード6.9の直下型地震を想定し、地形や地盤条件、震源からの距離のデータを用いて50mのエリアごとに想定される震度を推計しました。
 実際に地震が発生した場合には予測されたおりの震度の揺れが生じるとは限りませんが、日ごろからの備えを心がけましょう。

震度と想定される被害

震度 4	<ul style="list-style-type: none"> ●ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。
震度 5弱	<ul style="list-style-type: none"> ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

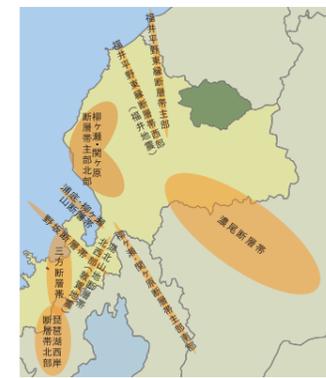
震度 5強	<ul style="list-style-type: none"> ●物につかまらなると歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本など落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度 6弱	<ul style="list-style-type: none"> ●立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 6強	<ul style="list-style-type: none"> ●はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度 7	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

出典：気象庁

地震の発生する原因は

地震の起こり方は、大きく「直下型(内陸型)地震」と「海溝型地震」の2種類に分けられます。
 勝山市への影響が大きいと考えられる活断層は、福井平野東縁断層帯主部で発生する地震です。しかし、近年では、事前に想定されなかった未知の活断層地震が発生しています。
 このため、地震ハザードマップでは、マグニチュード6.9の直下型地震を想定しました。この地震が発生した場合、他の地震と比較して最も大きな揺れが生じると考えられます。



地震が起きたら

地震発生

- 落ち着く
- 身を守る
- 火を消す

2分

- 出口の確保
- 周囲の火の点検
- 屋内でも靴を履く

5分

- 余震注意
- 家族の安否確認
- ラジオを聞く
- 持出品用意

10分

- 避難行動要支援者の安否を確認
- ガス栓を閉める
- ブレーカーを切る
- 行き先のメモを玄関に貼る

数時間

- 消火活動
- 救出活動
- 家屋の倒壊など危険があればすぐ避難
- 非常備蓄品で自給自足

3日

- 市の広報に注意
- みんなで助け合い
- 集団のルールを守る